

さいたま市立館岩少年自然の家 所報 No.96

たていわ



館岩少年自然の家 ☎ 0241-78-2311 FAX 0241-78-2313
<http://www.saitama-city.ed.jp/05gakko/sizennoie/tateiwa/index.htm>



ホームページには、こちらのQRコードから入れます。

平成30年度より館岩一本化がスタートしました。



新和小学校2日目
焼き板の様子
～篝火場にて～



大東小学校1日目
フィールドワーク（100gの石の重さを予想する）の様子
～炊飯広場にて～

平成三十年六月十七日（日）
同じ時間に同じ敷地内で活動する
大東小学校（右）と新和小学校（左）

平成三十一年二月七日（木）
同じゲレンデで活動する七里中学校（右）と日進中学校（左）



日進中学校2日目
スキー活動の様子



七里中学校1日目
スキー活動の様子



「集いの広場」での雪国体験活動（かんじき）

上大久保中学校



自然を観察しながら問題に答えていく緑の体験学習（緑に親しむ活動）

善前小学校

平成三十年年度の自然の教室より、館岩一本化がスタートしました。とくさ館とからまつ館を利用して常に2校が、中学校においては一部3校が入所して活動を行っています。時間や場所をずらすことで、それぞれのねらいに基づいた活動を行いました。
夏季には新たな緑の体験学習（緑に親しむ活動）がスタートしたり、工事により制限されていた「集いの広場」での活動が再開されたりと、変化の大きな一年でしたが、「自然に触れ 自然に学び 自然で鍛える」という理念のもと、全ての市立小中学校（小学校百三校、中学校五十七校）が無事に自然の教室を実施しました。

平成30年度「自然の教室」活動の様子 ～児童生徒の感想より～

『自然の教室(夏季)』

もり上がったキャンプファイヤー
鈴谷小学校

私たちの学校が新館にとまる初めての学校だったので、オープニングセレモニーがありました。みんなでカウンタダウンした後、中に入るとあまりにきれいで感動しました。

天気が悪く、雨がふったりやんだりでしたが、夜にはキャンプファイヤーもでき、とてもうれしかったです。校長先生に似た火の神が出てきたときには、びっくりしました。その後、ジンギスカンやマイムマイムをおもいっきりおどったりゲームをしたり、火もさらにもえ上がりました。外は暗くても、みんな笑い合った明るく楽しい時間となりました。

全員が、登りきった前山登山
春野小学校

館岩で、ぼくは、前山登山が一番心に残りました。

ぼくは、体力や足腰の力がなく、登山はすごく心配でした。でも、登山の途中で、友達が手をかしてくれたり、「がんばれ」と声をかけてくれたりとはげましてくれました。そのおかげで、ぼくは登りきることができました。

頂上に着くまでにはいろいろなけしきを見られました。また、全員が登りきることができたと聞き、がんばって登ってよかったと思います。中学校での館岩も楽しみます。



春岡小学校



大戸小学校

『自然の教室(冬季)』

城南中学校



待ちに待った館岩自然の教室
慈恩寺中学校

私は冬季の新館利用の一目という事だったのでからまつ館をとっても楽しみにしていました。館内は南会津町の木を使用してありとても良い香りで、リラックして二泊三日を過ごすことができました。

スキー活動ではスキー指導者の先生に熱心なご指導をいただき、スキー班の友達とコミュニケーションをとりながら楽しく活動が行えました。スキーの疲れを癒してくれたのはお風呂です。とても広く、温泉だったため心地よかったです。仲間との集団生活や一生懸命取り組んだスキー活動は、私たちを成長させてくれました。

雪国体験

宮前中学校

自然の教室での三日間を通して、普段とは違う環境の中で、自分から行動すること、自分で考えること、大切さや大変さを学ぶことができました。

また、二日目夜の雪国体験活動で、グループの仲間と協力して作った雪灯籠に点火したときの光景は、格別で忘れられません。さいたまでは雪を使つて何かを作る、ということはなかなかできないので、あの幻想的な光景は雪国館岩ならではの思い出だと思います。

館岩で学んだこと、感じたことを活かして、これからの学校生活を過ごしていきたいです。



大宮北中学校

平成30年度 主催事業等の様子



白銀の会津高原・家族の集い

平成三十年十二月二十五日(火)～二十七日(木)の三日間、主催事業「白銀の会津高原・家族の集い」を実施しました。
敷地内でのそりすべりや雪だるまづくりなどの雪国体験やたかつえスキー場でのスキー活動に加え、夜には他の家族と一緒に様々なレクリエーションを行い、交流を深めました。雪国の素晴らしさを感じられる三日間でした。



会津高原の夏・家族の集い

平成三十年七月二十八日(土)～三十日(月)の三日間、主催事業「会津高原の夏・家族の集い」を実施しました。
今年は館岩の夏祭りへの参加や、地元の方を講師としたそば打ちやわらじ作りを行い、地域の方とふれあいました。また、二家族合同での野外炊飯などを通して、家族や家族間の絆も深めることができた三日間でした。

自然に学ぶ夏の学校「むし・ほし・いしの3日間」

東京大学加藤泰浩研究室 主催 さいたま市教育委員会 共催



平成三十年八月七日(火)～九日(木)の三日間、自然体験を通して、五感を働かせて楽しく学ぶことを目的とした「自然に学ぶ夏の学校」が実施されました。
「未来の科学者を目指そう」というスローガンのもとに、さいたま市立小・中学校に通う四十三名が参加しました。「むし(昆虫採集)」「ほし(星空観察)」「いし(鉱物観察)」を通して、本物に触れたり、東大の研究者とかかわりあったりすることで、自然に対する興味関心を高めました。また、今年度は平成二十八年度に参加した中学生が参加し、より専門的な活動にも取り組みました。

さいたま市PTA 連絡協議会視察研修



平成三十年八月十八日(土)～十九日(日)、さいたま市PTA協議会の視察研修が実施されました。
自然の教室で多くの学校が実施する「前山登山」の登山道や、宿泊棟周辺の花壇の整備をしていただきました。
また、自然の家周辺を探検する「木賊めぐり」や、「溪流イワナキャッチ」、「そばうち」など、自然の教室(夏季)のプログラムも体験しました。

令和元年度 所員紹介

| | | | |
|------|-------|--------|--|
| 所長 | 佐藤 浩市 | | |
| 管理係 | 平野 守 | 西形 和人 | |
| 指導係 | 縫 正也 | 武井 仁史 | |
| | 阿部 順行 | 山下 貴路 | |
| | 岩田 貴典 | 齋藤 聡 | |
| | 岩渕 正樹 | 鈴木 紘生 | |
| | 大畠 正徳 | 平野 英雄 | |
| 臨時職員 | 平野 紘次 | 阿久津 初男 | |
| | 星 タマヨ | | |

活動アラカルト

自然の教室(夏季)

天体観測



望遠鏡を使って木星の観察を行いました。
海老沼小学校

自然の教室(冬季)

雪中運動会



雪上でクラス対抗の綱引きを行いました。学年全体で盛り上がりました。
大谷場中学校

館岩小学校との交流



地元の館岩小学校と合同で登山や焼き板、イワナさばきなどを行いました。
馬宮西小学校

館岩中学校との交流



地元の館岩中学校と合同でスキー班を組み、交流を行いました。
大宮南中学校

館岩地域の小学校、中学校との交流を行いました。中でも、中学校での交流は初めての試みでした。活動の前に代表生徒がお互いの学校紹介をし合ったり、一緒に食事をとったりしながら交流を深めました。

| | | | |
|---------|----------------|-------------------|-------------------|
| 令和元年度予定 | ○自然の教室(夏季) | 5月9日(木)～7月14日(日) | 9月3日(火)～10月29日(火) |
| | ○自然の教室(冬季) | 1月10日(金)～3月10日(火) | |
| | ○会津高原の夏・家族の集い | 7月26日(金)～28日(日) | |
| | ○白銀の会津高原・家族の集い | 12月25日(水)～27日(金) | |
| | ○自然に学ぶ夏の学校 | 8月1日(木)～3日(土) | |

入所統計

館岩少年自然の家

平成30年度

68,471人

開所以来

1,688,360人

(平成31年3月末現在)

今年度、五名の所員とともに所長として赴任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。私は、今から十五年前に指導係として三年間の館岩で過ごしました。二度目の館岩となります。

あれから時は過ぎ、時代も大きく変わろうとしています。昨年度、素晴らしい宿泊施設が増設され、さいたま市立のすべての小中学校の子どもたちが、この自然の家を利用し、自然体験が行われるようになりました。さいたまにはない山野・林間の生活を通して自然に親しみ、二泊三日、規律ある集団生活を送ります。その中で、自然の大切さ、素晴らしいに気付き、その気持ちを、人への優しさや思いやりの気持ちに変えて持ちかえった子ども達も多いのではないかと感じています。

「自然に学ぶ」このことは、何よりも貴重な体験として、子ども達の中に深く刻み込まれ、大切な一ページになることを願っています。

「自然に学ぶ」

所長 佐藤 浩市

所長挨拶